

「多文化共生」を考える研修会2016

兵庫県には、146か国、約9.9万人の外国人県民が住んでおり、さまざまな場面で接する機会が増えています。文化や言語、生活習慣の違いを認め合い、互いに尊重し合う多文化社会の実現をめざし、今回で16回目を迎える『多文化共生』を考える研修会」を下記内容で開催します。興味のある方は、是非、ご参加ください。

第1回 8月17日(水) 会場：国際健康開発センター3階 会議室1

【総論】

- 13:30~13:35 主催者あいさつ
- 13:35~15:30 「外国にルーツを持つ人たち取材して」
杉山 春 (ルポライター)
- 15:45~16:00 「ひょうご多文化共生社会推進指針について」
兵庫県国際交流課
- 16:00~16:45 「これからの多文化共生への取り組み~ひょうご多文化共生社会推進指針策定に関わって~」
乾 美紀 (兵庫県立大学准教授)

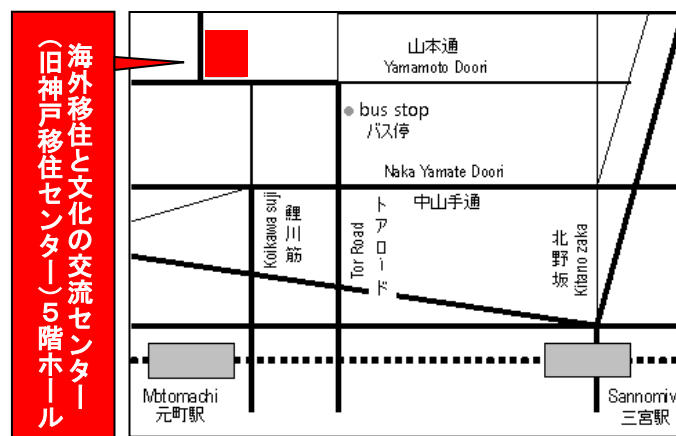


杉山 春
1958年生まれ。雑誌記者を経て、フリーのルポライター。著書に、小学館ノンフィクション大賞を受賞した『ネグレクト—育児放棄 真奈ちゃんは何で死んだか』(小学館文庫、2007年)のほか、『移民環流—南米から帰ってくる日系人たち』(新潮社、2008年)『ルポ 虐待—大阪二児置き去り死事件』(ちくま新書、2013年)など。

第2回 8月19日(金) 会場：海外移住と文化の交流センター5階

【外国にルーツを持つ子どもの教育】

- 13:30~15:30 「浜松における外国にルーツを持つ多様な子どもたちの現状と課題、そして未来」
池上 重弘 (静岡文化芸術大学教授)
- 15:45~16:45 「兵庫県における子ども多文化共生教育について~外国人児童生徒のための学習支援事業の取組~」
兵庫県教育委員会人権教育課



定員60名

〈会場〉
※8月19日(金)のみ

海外移住と文化の交流センター
5階ホール
神戸市中央区山本通
3-19-8

第3回 8月22日(月) 会場：国際健康開発センター3階 会議室1

【世界の難民・移民とシティズンシップ】

- 13:30~15:00 「トルコのシリア難民の現状と取り組み」
景平 義文 (特定非営利活動法人 難民を助ける会
プログラムオフィサー)
- 15:15~16:45 「ドイツ在住トルコ系移民の文化と地域社会
~移民の社会的統合とシティズンシップ~」
石川 真作 (東北学院大学准教授)

※この日のみ「兵庫EU協会」との共催です。

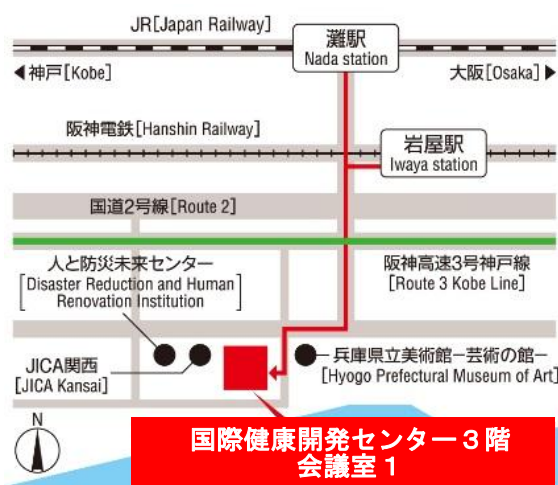
第4回 8月26日(金) 会場：国際健康開発センター3階 会議室1

【外国人当事者のエンパワーメント】

- 13:30~15:00 「被災地福島の移住女性と子どもたち」
佐藤 信行 (福島移住女性支援ネットワーク)
城坂 愛 («つばさ~日中ハーフ支援会»
副会長)
- 15:15~16:45 「中国帰国者コミュニティのサポート事業
~外国人高齢者と介護の橋渡し
プロジェクトなど~」
王 榮 (NPO法人東海外国人生活
サポートセンター代表)

会場

8月17日(水), 8月22日(月), 8月26日(金)



1回だけでも
参加できます

各回定員60名

国際健康開発センター
3階会議室1
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-1

【資料代】 500円/回
(全回参加で初回納付の方のみ1,500円)

【申込締切】 8月12日(金)

【申込方法】 ①お名前、②所属等、③連絡先(TEL、FAX又はE-mail)、④参加を希望する日の4点を明記して、FAX又はE-mailで下記申込先までお申し込みください。

【申込・問い合わせ先】

NPO法人神戸定住外国人支援センター(KFC)
TEL:078-612-2402 FAX:078-612-3052
E-mail: kfc@social-b.net

主催：(公財)兵庫県国際交流協会、NPO法人神戸定住外国人支援センター(KFC)、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市
共催(8月22日開催分)：兵庫EU協会